

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	下呂市家庭教育支援チーム
活動開始年度	平成22年度
活動拠点	下呂市内コミュニティーセンター及び公民館
活動範囲	下呂市全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (下呂市からの委託事業)
組織体制	<u>10</u> 人 地域の子育てOG や子育て中の母親 10人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input checked="" type="checkbox"/> その他(小グループに分かれての座談会、意見交流会)
	<p>①赤ちゃんカフェの開催</p> 0歳のお子さんがいるお母さんのための交流の場として、市内各地域で行う。同年齢の子を持つお母さん同士で、手作りのお菓子と飲み物を味わい、手遊びやレクリエーションを楽しんだ後、グループに分かれて子育ての悩み事等を相談したり情報交換したりする。上の子がいる場合は、別室で託児をする。 <p>②UP カフェの開催</p> 子どもの年齢に関わらず、子育て中の全てのお母さんのための交流の場として、市内各地域で行う。ヨガ体験や音楽鑑賞などの催し物の後、グループに分かれて話したいテーマを出し合い、手作りのお菓子と飲み物を味わいながら、話し合いをする。お子さんと一緒に参加する場合は、同室で託児をする。 <p>③職員会議</p> 各カフェの打ち合わせは、それぞれの開催日に合わせて参加職員で随時行い、それ以外に、全職員参加で年3回職員会議を行う。年間計画や見積り等の検討、及び年間活動の振り返りなどとともに、気になる事例や情報の交換と共有、対応方法の見直しや改善をする。

活動の成果	<p>・赤ちゃんカフェでは、「赤ちゃんとお母さんだけで落ち着いて過ごせるように別室託児を行っているので、ゆったりと話ができてありがたい」「赤ちゃんを連れて外に出るきっかけになり、気分がリフレッシュできて嬉しい」「赤ちゃんのことで悩んだり困ったりしていることも気軽に話せて、他のお母さんも同じ苦労をしていると知って、少し気持ちが楽になった」などの声が多く寄せられている。特に一人目のお子さんを連れてお母さんのママ友作りのきっかけとして非常に喜ばれている。</p> <p>・UP カフェでは、それぞれの催し物も好評であると同時に、「子育ての悩みを先輩ママさんにアドバイスしてもらえてありがたい」「気になっていることや聞いてみたいことが気軽に話せて助かる」「保育園や学校の情報交換もできるので、今後の参考になる」など、グループワークでの満足度が高く、リピーターも多い。</p>
活動において苦労した点や課題	<p>・いずれのカフェも市内各地域で回数を振り分けて行っているため、同じ地域での開催は年間で2～4回、少ない地域は1回しか開催できない所もあり、回数を増やしてほしいという声がある中で、職員もそれぞれにパートもしくは非常勤の仕事を持つ者が多いため回数の増加は現時点で困難と言える。また、フルタイムの仕事に就くことで職員を続けられなくなる場合もあり、毎年の職員確保や育成が大きな課題となっている。</p>
今後の活動目標	<p>・現在の回数の赤ちゃんカフェと UP カフェの開催を維持していきながら、より多くの下呂市内のお母さんたちを支援し、支援チームの活動を知ってもらい、次世代の支援チームを担ってもらえるような人材発掘と育成をすることで、カフェの開催を持続可能なものとしていきたい。</p>
問合せ先	<p>(部署・氏名等)下呂市市長公室 市民活動推進課 (TEL)0576-24-2222(内線 252) (E-mail)gc001796@city.gero.lg.jp</p>